

福岡市美術館平成29年度事業計画について

1 休館中の所蔵作品の活用

(1) 所蔵作品の他館での展示

ア 福岡アジア美術館（近現代美術）

アジアギャラリー他でのコレクション展にて、下記展示を予定。

展覧会名	会期	出品作品
アニッシュ・カプーアと インドのカタチ	1月2日～ 5月9日 (開催中)	アニッシュ・カプーア《虚ろなる母》, ドローイング6点, 版画2点 ※ 《虚ろなる母》については, 本展 終了後も引き続き展示
コレクション展	1月2日～ (開催中)	ザオ・ウーキー《僕らはまだ二人だー 10.3.74》
アート横断V 創造のエコロジー	2月18日～ 3月21日 (開催済)	ナムジュン・パイク《冥王星人》, 《メディアスタディ》
異境にて	平成30年1月～ (予定)	吉田博ほか

イ 福岡市博物館（古美術）

常設展示室にて、当館所蔵の黒田資料を活用した下記展示を予定。

展覧会名	会期	出品作品
黒田長政の読書	4月18日～ 6月25日	卮言抄, 住吉物語, 伊勢物語, 聞書, 春夢草, 和漢朗詠集, 謡本
黒田家の博物学	6月27日～ 8月27日	菊花図巻(長清期), 鷺鳥図(斉清 期), 草花図
黒田家の婚礼	8月22日～ 10月22日	藤巴桐紋薄文蒔絵挟箱, 藤巴紋蒔絵 板(本光院), 松竹藤文蒔絵広蓋(本 光院), 波千鳥紋蒔絵十種香箱, 秋 草文蒔絵香箱, 香具, 姫道具
藩主夫人が愛した文物	8月29日～ 11月5日	三葉葵紋櫛, 百人一首抄(真含院), 竹牡丹文蒔絵箆笥・源氏物語(宝光 院, 心空院), 百八字形(宝光院), 源氏物語系図(心空院, 圭光院), 松島図屏風(心空院), 鶏に藤図(香 台院)
黒田家と鉄砲	11月7日～ 平成30年1月8日	火縄銃(烏天狗, 不動明王, 春山), 薬入, 水平二連銃×2
黒田資料にみる幕末維 新	平成30年1月10日 ～3月4日	菊紋大旗, 竹図(天璋院), 名所図 蒔絵印籠(長溥拝領品), 唐太宗觀 蝗図
黒田如水の文芸	平成30年3月6日 ～4月30日	六家抄, 新古今集聞書

ウ 九州国立博物館（古美術）

文化交流展示室内の各室にて、下記展示を予定。

（ア）基本展示室

展覧会名	会期	出品作品
西洋美術に学ぶ	3月28日～ 5月7日（開催中）	霞ヶ関登城図（黒田）， 南蛮船入港之図（太田）
仏教工芸	3月28日～ 6月25日（開催中）	蓮池文磬（松永）
中国と日本の三彩	3月28日～ 9月10日（開催中）， 11月7日～ 平成30年3月31日	唐三彩の鳳首瓶・万年壺（松永）
座敷の美術（陶磁）	4月11日～ 平成30年3月31日	唐物茶入・茶碗（松永）， 飛青磁花入（一般）
唐物／高麗茶碗	3月22日～ 5月14日（開催中）， 5月16日～ 7月17日， 11月21日～ 平成30年4月8日	青井戸茶碗 銘「瀬尾」（松永）， 唐物大海茶入 銘横雲（黒田）， 古雲鶴筒茶碗（松永）
日宋貿易（陶磁）	5月16日～ 7月17日， 9月13日～ 平成30年4月1日	影青・青磁（松永）
江戸時代の中国趣味	6月27日～ 8月6日	阿蘭陀絵帖（黒田）
武器武具	6月27日～ 9月24日， 平成30年1月1日～ 3月25日	【重文】太刀銘「一」（松永）
座敷の美術（絵画） ③④⑤⑥	7月4日～ 12月3日	【重文】布袋図（松永）
菅公の書の周辺	7月19日～ 9月10日	【重文】金剛般若経開題残巻
雪舟の入明②	7月19日～ 9月10日	【重美】寿老図（黒田）
日明貿易（陶磁）	9月13日～ 11月19日， 平成30年1月30日 ～4月1日	呉須赤絵等（松永）
西の土器 東の土器	9月26日～ 平成30年3月31日	【重文】壺形土器（松永）

高麗茶碗/九州陶磁③④	10月3日～ 平成30年1月28日	絵唐津柿花形向付（一般）， 御本半使茶碗（一般）
経筒の世界	11月7日～ 平成30年1月28日	平安時代の経筒（松永）
古墳時代の渡来技術	11月28日～ 平成30年3月25日	青銅鍍金透彫帯金具（森田）
将軍様の宝もの「唐物」 ①②	12月5日～ 平成30年2月25日	【重美】韋駄天・猿猴図（松永）
天平文化	12月19日～ 平成30年1月28日	法隆寺百万塔（松永）
江戸時代の博物学	平成30年1月1日～ 2月4日	獺図（黒田）
松永コレクションの 墨蹟	平成30年1月10日 ～3月4日	【重文】月江正印墨蹟（松永）， 【重文】清拙正澄墨蹟（松永）

(イ) 第3室

展覧会名	会期	出品作品
青銅器のひろがり	7月19日～ 11月26日， 10月24日～ 12月3日	中国青銅器（松永・森田）， 王子形水瓶（松永）
鍍金銀温酒樽	7月19日～ 11月26日	雲気文獣環耳尊（松永）
よみの国の暮らしー副 葬された模型と容器ー	12月5日～ 平成30年3月25日	中国古代の明器（森田を中心）

(ウ) 第6室

展覧会名	会期	出品作品
古代日本の金銅仏	4月4日～ 9月3日	【重文】弥勒菩薩半跏像（松永）
朝鮮半島の仏像	4月4日～ 9月3日	如来形立像（松永）
日本の仏像	4月4日～ 9月3日	風神像（松永）
断簡	4月11日～ 5月21日	【重文】病草紙・肥満の女， 【重文】地獄草紙断簡・勘当の鬼， 絵因果経断簡（いずれも松永）
地獄	5月23日～ 7月2日	【重文】焰摩天像（松永）
阿弥陀	8月8日～ 9月3日	平等院扉絵残欠（松永）

インドの仏像	11月14日～ 平成30年1月28 日	ガンダーラ仏（栗田・森田）
ガンダーラの美術	11月14日～ 平成30年1月28 日	ガンダーラ仏（森田）
ガンダーラの仏像	11月14日～ 平成30年4月1日	ガンダーラ仏（松永）

(エ) 第7室

展覧会名	会期	出品作品
アジアの動物造形	4月4日～ 6月4日	クメールの動物形壺（本多），加彩十二生肖（森田），色絵鶏親子置物（一般）
アジアの染織	平成30年2月20 日～4月1日	コプト裂（松永）

(オ) 第8室

展覧会名	会期	出品作品
瀬戸内海航路と水中考古+シルクロード	3月14日～ 3月26日（開催済）	三彩駱駝（森山）， 加彩十二生肖 7 軀（森山）
シルクロードの歴史	3月28日～ 9月7日（開催中）， 11月9日～ 平成30年3月31 日	加彩甕（松永）， 唐三彩・青白磁水柱等（森田）
遣唐使の時代	9月13日～ 11月5日	唐時代・奈良時代の陶磁・金工（松永・森田）

(カ) 第9室

展覧会名	会期	出品作品
宋人と福岡平野	5月30日～ 7月9日	建盞天目茶碗（松永）
明清の工芸 陶磁・染織・金工	5月30日～ 7月9日	【重文】 五彩魚藻文壺（松永）， 五彩龍鳳凰文水注（太田）
「新・桃山展」の仲間たち室町・安土桃山時代編①	9月16日～ 10月29日	黄瀬戸縁鉢（松永）
「新・桃山展」の仲間たち室町・安土桃山時代編②	11月3日～ 12月23日	豊干禅師・寒山拾得図（太田）， 韃靼人狩獵図屏風（黒田）
特別展示 徳川美術館所蔵 国宝 初音の調度	平成30年1月1日 ～1月28日	源氏物語図屏風（森山）
禅の書画	平成30年2月6日 ～4月1日	【重文】 五祖荷鋤図（松永）

(キ) 第10室

展覧会名	会期	出品作品
田中丸コレクション① 懐石の器	4月11日～ 7月2日	松永コレクションの向付(参考出品)

(ク) 第11室

展覧会名	会期	出品作品
江戸美術にみる理想の 風景	2月7日～ 3月20日(開催済)	洞庭湖図(森山)
茶の湯を楽しむ⑦ 名品にみる茶陶の歴史 と高取焼	5月16日～ 6月25日	博多文琳他関連資料(黒田), 日本・朝鮮の茶陶(松永), 高取焼(一般)
描かれた名場面 ー文学と絵画	7月4日～ 7月30日	平家公達草紙(松永), 竹取物語絵巻(一般), 伊勢物語図色紙(一般)
「新・桃山展」の仲間たち 安土桃山・江戸時代編	9月23日～ 11月5日	【重文】泰西風俗図屏風(黒田), 又兵衛三十六歌仙(一般)
更紗	11月14日～ 12月23日	インド更紗クリシュナ図
理想の風景を旅する: 江戸絵画の魅力	平成30年2月20 日～3月18日	【重美】高士喫茶図(森山), 青緑米法山水図巻(太田)

エ 九州歴史資料館(古美術)

第1展示室にて、東光院仏教美術資料のうち重要文化財指定仏像の陳列を予定。

展覧会名	会期	出品作品
新春酉年企画 鳥	1月5日～ 2月19日(開催済)	木造十二神将立像・申神 木造十二神将立像・酉神 木造十二神将立像・戌神

以降の展示については、時期及び作品未定

(2) 所蔵作品巡回展「夢の美術館ーめぐりあう名画たち」

TNCプロジェクト企画による当館・北九州市立美術館の所蔵品巡回展。当館からダリ、ミロ、ウォーホル、フジタなど39点を貸出、展示。

	会場	会期
①	沖縄県立博物館・美術館	平成28年12月20日～2月5日(開催済)
②	長崎県美術館	2月23日～4月2日(開催中)
③	熊本県立美術館	4月11日～5月28日
④	久留米市美術館	6月3日～7月16日
⑤	宮崎県立美術館	7月22日～9月3日
⑥	島根県立美術館	9月12日～10月23日

- (3) 所蔵作品巡回展「モダンを検証するー福岡市美術館の近現代美術コレクション(仮称)」
美術館連絡協議会企画による当館所蔵品巡回展。ダリ、ミロなどを中心に60～70点を貸出、展示。

	会場	会期
①	鳥取県立博物館	平成30年2月3日～3月18日(予定)
②	埼玉県立近代美術館	平成30年4月7日～5月20日 または、平成30年7月7日～9月2日
③	横須賀美術館	平成30年9月15日～11月3日(予定)

- (4) 特別協力企画展「吉田博展」

当館所蔵の吉田博の油彩、水彩18点を貸出、展示。

	会場	会期
①	千葉市美術館	平成28年4月9日～5月22日(開催済)
②	郡山市立美術館	平成28年6月4日～7月24日(開催済)
③	久留米市美術館	2月4日～3月20日(開催済)
④	上田市立美術館	4月29日～6月18日
⑤	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館	7月8日～8月27日

2 教育普及事業

- (1) アウトリーチ事業「どこでも美術館」(担当: 鬼本主任学芸主事)

休館中は、美術館での鑑賞活動ができなくなるため、持ち出し式キットを制作し、学校、公民館等を対象に鑑賞プログラムを実施。平成29年度については、公募を行い、年間小中学校20校、公民館5館にて実施予定。また、リニューアル後の活用も見据え、病院や特別支援学校、福祉施設などでも試行予定。

- (2) ワークショップ&シンポジウム「館種を超えたミュージアムの連携: 活動と理念」

(担当: 崎田学芸員)

館外にて行う子ども向けワークショップの実践とそのワークショップの内容について考えるシンポジウムを実施。子ども対象活動に定評のある愛知県児童総合センター、平成29年10月開館予定の市科学館と連携し、ワークショップやシンポジウムを行い、子どもへの効果的な活動を検討予定。

日程: 7月7日(金)～8日(土) (予定)

- (3) 市民向け講座「つきなみ講座」(毎月1回)

月1回土曜日に、美術館職員が一般向けに自身の研究・展示・仕事内容等についての講座を実施。なお、平成29年度はアジア美術館及び市博物館にて開催予定。

(4) ファミリーDAY (担当：鬼本主任学芸主事)

11月3日の開館記念日を中心に、毎年実施している若い世代の家族向け教育プログラムを、館外にて実施予定。また、11月3日には、工事仮囲いを活用した市民参加ワークショップ(ライブペインティング)を検討。

日程：11月3日(金)～5日(日) (予定)

(5) いきヨウヨウ講座 (担当：鬼本主任学芸主事)

60歳以上を対象とした講座で、美術及び美術館への造詣を深め、心の充実感を実感してもらう美術教育活動を実施予定。

日程：平成30年3月(予定)

(6) ボランティア活動

新聞情報ボランティア，図書整理ボランティア，美術家情報整理ボランティアについては、休館中も通常通り活動を実施。ギャラリーガイドボランティアについては、展示室での活動に替わり、街歩きアートツアー(P.8参照)を実施予定。

3 美術品の収集

収集方針に基づき、過去に公益財団法人福岡市文化芸術振興財団が先行取得した美術品の買戻しを行うとともに、28年度に当館に寄せられた「ふくおか応援寄付」(※)を活用して美術品を購入予定。

※「ふくおか応援寄付」とは、
ふるさと納税制度を活用した福岡市への寄付メニューのひとつとして「美術館」を選択できるものであり、平成28年度(2月末現在)は9名の方から合わせて約900万円の寄付をいただいた。

[参考]

平成28年度 買戻し 菊畑茂久馬「ルーレット」(油彩) 外5点

寄贈 【古美術】仙厓義梵「善財採薬図」(絵画) 外217点

【近現代美術】朝倉文夫「兎」(彫刻) 外54点

4 その他

(1) 福岡ミュージアムウィーク

平成29年5月13日(土)～5月21日(日) (9日間)

博物館・美術館の役割を広く周知するために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、福岡市内の博物館や美術館など12施設が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」，「知識の場」，「発見の場」である博物館・美術館をアピールする。

ア 共通事業

(ア) 期間中の常設展観覧料・入館料無料(一部割引)

(イ) スタンプラリー

ただし、当館は休館中のため、この共通事業には不参加。

イ 福岡市美術館事業

(ア) 講演会&座談会「美術館の未来－文化資源学の視点から」

日程：5月21日（日） 14:00～17:00

講師：木下直之氏（東京大学教授）

場所：市博物館 講堂

内容：「福岡市美術館のリニューアル」をテーマに、未来の美術館増について、文化資源学を専門とする木下直之氏による講演や、当館学芸員達が木下氏を囲んでの座談会を実施。

定員：240名（当日先着順）

(イ) 街歩きアートツアー

日程：5月13日（土）～21日（日）

内容：美術館ボランティアが企画する全国でも珍しい街歩きツアー。日によって歩く場所も内容も変わる。

定員：各15名

申込み：事前申込み（応募多数の場合は抽選）

ツアー名	日時	内容
ミック！博多彫り出しアート	5月13日 13:00～16:00	福岡高校、博多の古い町並み、櫛田神社を巡る。交通費200円が必要。
五感をあじわう ホリデーツアー	5月14日 13:30～17:30	当館所蔵作家・片山雅史氏を訪ね、実際の創作現場を体感した後、寺塚にある興宗寺で穴観音を見学。交通費430円が必要。
フ・シ・ギ発見！和田三造・作【博多繁昌の図】	5月16日 10:00～11:00	明治生まれ、大正、昭和と活躍した画家、和田三造氏の大作をもとに、古来より、博多の街に潜在していた「繁昌パワー」「開運パワー」の楽しさを体感するツアー。
みて！とって！ときめきアート巡り	5月17日 10:00～11:30	百道浜を巡りながら、携帯やスマートフォンでアート作品や風景を撮る。
美Walk	5月18日 11:00～12:00	ボランティアと一緒にウォーキングをしながら、百道浜のアート巡りを行う。飲み物代500円が必要。
博多東方見聞録	5月19日 10:30～14:30	九産大美術館と薬王密寺東光院を巡り、新旧のアートを大観する。昼食代500円程度と交通費380円が必要。

(2) 所蔵作品解説の多言語化

リニューアルオープンに向けたインバウンド観光客の受入環境の整備のため、主要な所蔵作品（29年度は100点程度）について、日英中韓4か国語の作品解説を作成。

(3) 福岡市美術館のリニューアル事業について

ア 概要

福岡市美術館は開館から 35 年以上が経過しており、施設・設備の老朽化の改善やユニバーサルデザインへ対応するとともに、情報発信力の強化や利便施設の充実等、集客観光拠点としての魅力向上を図るもの。

(主な改修内容)

- ・常設展示室の拡充・改修
- ・市民ギャラリーの拡充・改修
- ・多目的スタジオの新設
- ・大濠公園側にカフェ、アプローチの新設
- ・ミュージアムショップの1階ロビーへの移設 など

イ 平成29年度の業務概要

- 改修工事
平成27年度から着手した実施設計を完成させ、平成29年6月から着工
- リニューアル広報
新たなホームページの構築，SNSによる情報発信，広報誌「エスプラナード」の制作，工事仮囲いを活用したワークショップを検討（平成29年秋頃）
- ブランディング
利用者にとって美術館のイメージや価値を高める取り組みの検討
- 収蔵品等情報システム
収蔵品データベース等の公開及び職員の業務効率化のための新たな情報システム構築

ウ スケジュール

平成29年度	平成30年度	平成31年度以降
(休館)	(休館)	(開館)
○ ハード等整備		
(前年度～) 実施設計	(H29.6～H30.9) 改修工事	(H31.3) リニューアルオープン
○ ソフト等整備		
・ リニューアル広報		
(H29.4～) 新ホームページ構築，広報誌，SNSによる情報発信／仮囲いワークショップ実施		(H30 秋頃～) 新ホームページ運用開始
・ ブランディング		
(前年度～) ブランディングの取り組み検討	(H29 秋頃～) ブランディングによるイメージを館内サイン，広報物，Webデザイン，ステーションナリー等に反映	
・ 収蔵品等情報システム		
(前年度～) システム設計・開発・構築		(H30 秋頃～) システム運用開始

福岡アジア美術館平成29年度事業計画について

1 展覧会の開催

(1) 特別企画展

ア サンシャワー：東南アジア現代美術展 1980年代から現在まで

(担当：五十嵐学芸員)

展覧会期：11月3日(金)～12月25日(月)

運営方法：実行委員会設立(福岡アジア美術館, 他)

観覧者見込：6,000人

近年、めざましい経済発展とともに、国際的な注目を集める東南アジアの現代美術。その歩みは、晴れていながら雨が降る天気雨「サンシャワー」のように、発展と困難が混ざりあって動いてきた。植民地支配と独立、独裁政権と民主化、経済発展と開発のなかで、ダイナミックに変化してきた東南アジア10カ国の1980年代から現在までの美術を、自由の希求、コミュニティ、歴史など複数の視点で掘り下げて紹介する。

イ NTT西日本スペシャル おいでよ！絵本ミュージアム2017

(担当：ラウンチャイソ收集展示係長)

展覧会期：7月20日(木)～8月20日(日) 会期中無休・18時閉室

運営方法：実行委員会設立(福岡アジア美術館, 西日本新聞社,
TNCテレビ西日本, NPO法人子ども文化コミュニティ)

観覧者見込：45,000人

子どもたちの感性や想像力・創造力をはぐくむために、五感に働きかける様々な仕掛けやオブジェ、絵本の世界観を感じることができる空間をプロデュースする。11回目を迎える今回は、これまで築き上げたネットワークを活かしながら、約1000冊の絵本と原画の展示や様々なイベントを通して、人と人、人と自然のつながりの大切さを伝える。

(2) 常設企画展

博多でつなぐ東南アジア(仮称)

(担当：交流係)

展覧会期：11月3日(金)～12月25日(月)

「サンシャワー：東南アジア現代美術」展の出品作家が福岡に滞在し、美術館を飛び出し、博多部を会場に作品を発表。東南アジアのアーティストの眼をとおして、博多部の歴史や文化の魅力を再発見する。

(3) コレクション展

アジア美術館が所蔵する作品を数ヶ月毎に展示替の予定。

展覧会名	会期	担当
光をつかまえて	3月23日(木)～ 6月27日(火)	趙学芸員
虫めがねで見よう！ーちっちゃいもん、こまかいもん	6月29日(木)～ 9月12日(火)	未定
ようこそ、ミャンマー美術へ！	9月14日(木)～ 平成30年1月16日(火)	五十嵐学芸員
冬のおとなミュージアム 異境にてー日本作家の見たアジア	平成30年1月18日(木)～ 4月17日(火)	ラワンチャイケン 収集展示係長

2 美術交流事業

(1) 美術作家招聘事業

韓国とインドから2人の美術作家を各90日間(5月11日(木)～8月8日(火)、9月7日(木)～12月5日(火))招聘し、市民共同制作やワークショップ等の美術交流事業を実施。

(2) 研究者・学芸員等招聘事業

マカオから1人の研究者を30日間(平成30年2月5日(月)～3月6日(火))招聘し、研究活動を支援するとともに、美術講座やワークショップ等の美術交流事業を実施。

(3) 美術作家・研究者受入支援

助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査・研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作・調査活動を支援。滞在者は、3月に公募し、5月に決定。

3 美術品の収集

収集方針に基づき、美術品を購入予定

レオニーリョ・ドロリコン「民衆の殉教者」(版画) 外5点

[参考]

平成28年度 購入 劉栄楓「満洲の収穫」 外11点

寄贈 劉栄楓「満洲風景」 外16点

4 所蔵品の長期貸出

シンガポール国立ギャラリーと当館の覚書に基づき、アジア美術館所蔵品35点を平成27年8月～平成29年11月まで2年間、同ギャラリーに貸出中。なお、彫刻1点については平成27年8月～平成28年11月までの1年間のみ貸出。

5 その他

(1) 福岡ミュージアムウィーク

5月13日(土)～5月21日(日) 9日間

博物館・美術館の役割を広く多くの方々に知っていただくために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、福岡市内の博物館や美術館など12施設が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」、「知識の場」、「発見の場」である博物館・美術館をアピールする。

ア 共通事業

(ア) 期間中の常設展観覧料・入館料無料(一部割引)

(イ) スタンプラリー

イ 福岡アジア美術館事業

(ア) トークショー

日時：5月13日(土) 14:00～16:00

講師：東山彰良氏

内容：作家の東山氏による台湾等について語る。

場所：あじびホール(8F)

定員：120名(事前申込み、先着順)

(イ) ギャラリーツアー

日時：5月14日(月)、15日(火)、17日(木)、18日(金) 14:00～14:40

内容：ボランティアが作品の解説・案内を実施。

定員：各回20名(当日先着順)

(ウ) バックヤードツアー

日時：5月14日(日)、21日(日) 13:00～14:00

内容：普段は見るできない福岡アジア美術館の裏側を学芸員が案内。

定員：各回20名(当日先着順)

(エ) アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

日程：5月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)

①11:30～12:00 ②13:00～13:30

内容：3～7歳程度の子どもを対象にした、ボランティアによるアジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ。

場所：キッズコーナー(7F)

定員：子どもと保護者 毎回10組(当日先着順)

(オ) 滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～

日時：5月20日（土）14:00-16:00

講師：ヤルー氏（韓国）

内容：滞在中のアーティストが、これまでの活動や福岡滞在中のプランを語る。

場所：8階 あじびホール

定員：120名

(2) ブックカフェ等のリニューアル

アジア美術館の7階を、ブックカフェとイベントスペースを備えたラウンジにリニューアルするなど、市民や国内外の観光客がアジアの美術・文化に親しみ交流する場、また観光情報を発信する場等の機能を強化。



※ 現在の7階カフェ